

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	緑化推進事務			事業コード	0636
担当課等	所属名	農林部 林政課	担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	山口 翔	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 1目 総務事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	緑の募金法に基づく「緑の募金」による寄付金の募集及び寄付金を活用した森林整備等の推進にむけた活動を行う。					
根拠法令等	緑の募金法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
第二次世界大戦で森林が乱伐され、多くの災害が起こり、その災害を防ぐため造林事業が始まったことがきっかけで、現在は平成7年につくられた「緑の募金法」により、地方公共団体も啓発活動を行うことになっている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民から「募金活動を集客力のあるショッピングモールで行えないか」との意見がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
県緑化推進委員会本部や地区協議会の体制の縮小により、市町村支部に課せられた責務が大きくなっている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 参加者数(街頭募金、緑化行事)	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 各種募金活動により郷土緑化に対する理解と認識を深めるとともに環境緑化事業として、各種イベントにおける後援と苗木の提供を行った。また、森林愛護少年団育成としての経費助成や野鳥愛護活動の支援及び森林ボランティアの活動支援等を行った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  春季及び秋季募金期間における緑化宣伝活動、環境緑化事業としての苗木配布、森林整備事業としての森林公園の整備等推進、森林愛護少年団の育成、野鳥愛護運動としての探鳥会開催、森林ボランティアの活動への積極的な支援。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 参加者数の推移	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	緑の大切さへの理解を深めるなど、緑化愛護思想を育てる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 参加者数/基準年次の参加者数(H14 1290人) 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	参加者数(街頭募金、緑化行事)	人	1152	1138	1400	1056	1400	1400	24年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	参加者数の推移	人	1152	1388	1400	1056	1400	1400	24年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	参加者数/基準年次の参加者数(H14 1290人)	%	89.3	99.1	108.5	81.8	1400	1400	24年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	6,622	6,290	8,100	6,217	8,100	8,100	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	6,622	6,290	8,100	6,217	8,100	8,100	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	6,622	6,290	8,100	6,217	8,100	8,100	*****
	延べ業務時間数	時間	1,101	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,404	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,026	10,290	12,100	10,217	12,100	12,100	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 緑化愛護の思想を育て、普及していくことが、森林環境の保全につながっていく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 森林の育成管理は、国民的課題となっているとともに、緑の募金法で、各都道府県へ緑化推進委員会の設置規定が明記され、それに基づいて岩手県緑化推進委員会には地区協議会及び各市町村支部に関する規定があり、実際、県内各市町村に緑化推進委員会の支部が設けられている。ほとんどの活動は募金によるものである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 全市町村に岩手県緑化推進委員会の支部が置かれ事業を展開しているので市民に限られる。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 募金のみで事業を行っており、募金額が増えない限り事業の拡大は難しい。現状の募金額で対応できる支援を行っている。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 緑化行事の宣伝の工夫等。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 緑の募金法に基づき、国とともに市町村が緑の募金を実施する努力義務が課せられており、事業を休止することは、法律の理念に反するもので市の姿勢が問われることになる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 盛岡市グリーンバンク ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 緑化等を目的として、町内会等への苗木配布を行う事業等については、事業の内容が類似しており、成果向上にむけた工夫の余地はある。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 類似事務事業等との統合が現実的に可能であれば条件はある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 募金業務は相当の労力と時間を要する。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 環境緑化運動の宣伝・周知
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 募金が受益者負担である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること                  より多くの市民に緑化運動に参加してもらうための情報・宣伝の強化と、企画の検討・立案。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>合併後、地区担当員制度の見直しや広報等の配布方法の変更があり、募金活動における家庭募金のとりくみの点で、町内会組織等との連携の工夫が求められている。また、行革にともなう歳出削減の方針のもとで、市に事務局がある団体については、通信費等は自前で支出しなければならない状況となり、募金会計の中で、通信費等事務費が増えてきている。こうした状況を受け、町内会組織をはじめとした関係団体との協力関係を密にしながら、募金の実績額を増やし、かつ、より多くの市民が参加できる事業を検討していかなければならない。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>募金への取り組みは、県内でも最も力を入れて募金運動を行っているが、募金額については、限界が見え始めているほか、支部の取り組みがもっと市民に見えるようにする必要がある。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>今年3月に入り震災があり、春の緑の募金を中止したほか、県本部が公益法人への移行手続きに入っており、移行した場合には支部事務の変更もあることから、この際、県の募金目標額の見直しへ関与するなど、実態に合った改革を進めていくものとする。</p>									